



サンフレッチェ広島がリーグ制覇しました。4年間で3度目の優勝です。毎年のように赤いユニフォームのチームに主力(監督)が引き抜かれていく中、ベテランの活躍、適材適所なスカウト、若手の育成で戦力をダウンさせることなく、この偉業を成し遂げたことは筆舌に尽くしがたいほどの賞賛に値すると思います。

サンフレ医会に所属する僕はもう涙するほどに感動してしまっているのですが、いまひとつ広島の盛り上がり方が足りないように感じます。その原因は何なのでしょう？

広島にはカーブがあります。50年以上の歴史があり、広島市民なら誰でも愛するプロ野球の球団です。もしカーブが優勝したら、今回のサンフレッチェの比ではないほど、広島は歓喜するでしょう。一度でもスタジアムでカーブを観たことがある人は、その臨場感、一体感の虜になります。カーブ観戦が広島市民の生活に浸透しているからこそ、こんなにもカーブが愛されるのだと思います。

カーブのスタジアム、われらが市民球場の建設地は旧も新も、ファンが観に行きやすいことを最優先に検討されました。その結果、実際に多くのファンが気軽に通える球場となりました。そういった広島市行政の協力があつたからこそ、カーブはここまで広島市民に愛される存在になったのです。

ではサンフレッチェはどうでしょうか？現在のスタジアム、ビッグアーチはとにかく不便な場所にあります。試合当日は2~3万人が移動しますが、市街から徒歩で行くことは不可能です。しかし車で行けば大渋滞です。バスとアストラ

ムラインという公共機関でも、この人数をスムーズに輸送するのは不可能です。混雑を避けるため、サポーターは開始の数時間前に入場し、試合が終わる前に帰ります。先日の優勝を決めた試合の日に衝撃的な光景を目にしました。試合が終了し、これから優勝セレモニーが始まろうとしているのに、多くのサポーターが我先に帰っていくのです。こんな感動的な瞬間はもう二度と見られないかもしれないのに、それよりも渋滞が嫌なのです。こんな煩わしいスタジアムでは、なかなか広島市民を楽しませることは難しいでしょう。

サンフレッチェがカーブと同じように広島市民に愛されるためには、誰もが気兼ねなく観に行けるような、アクセスのよいスタジアムの建設が必要です。そのために広島市議会の協力は不可欠で、積極的に活動されている議員はおられますが、松井市長からは強い意志を感じられません。市長には「サンフレッチェが3回優勝したらスタジアムができる」と言ってしまった責任をとって欲しいものです(当時はまさか本当に3回も優勝できるとは思ってもよらなかったんでしょうけれども)。広島県議会にもお願いしたいところですが、湯崎知事が「それは市の仕事で県の仕事ではない」と他人事なもの残念です。新サッカースタジアムの建設地には旧市民球場跡地が最適であることは明白で、スタジアム建設に対して37万件もの広島市民の署名が集まっています。市長をはじめ、広島市議員は広島市民から選ばれた身分だということを忘れず、広島発展のために働いて欲しいと思う、今日この頃です。